

なん
ぽろ

議会だより



シャ・ララ カフェにて演奏を楽しむ仲間

第3回 定例会

9月6日～12日

平成30年度各会計・病院事業会計
決算を認定

9月定例会は9月6日に開会し、町長一般行政報告に続き3名の議員が5項目について一般質問を行いました。その後、平成30年度各会計・病院事業会計決算認定を決算審査特別委員会に付託（9日から11日までの休会中に審議。審議内容は5点）、町健全化比率等の報告、補正予算など5件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

本会議は12日に再開し、条例制定、人事案件、決算認定など7議案を審議し、いずれも原案のとおり可決・認定し閉会しました。

平成30年度決算認定

○一般会計・5特別会計
○病院事業会計

一般会計ほか5特別会計及び病院事業会計は、決算審査特別委員会を設置して審議した結果、本会議において各会計とも原案のとおり認定されました。

令和元年度補正予算

○一般会計補正予算
(第2号)

歳入では、主に地方特例交付金の追加、普通交付税確定並びに平成30年度繰越金確定に伴う追加。
歳出では、主に保育所等運営補助事業費、南幌工業団地内道路舗装改修工事費及び幌向運河河道掘削工事費の追加によるものです。

可決

○介護保険特別会計
補正予算(第2号)

歳入では、主に基金繰入金の減額、平成30年度繰越金確定に伴う追加。
歳出では、主に基金積立金及び国庫支出金等精算金の追加によるものです。

可決

条例制定等

○南幌町森林環境譲与税基金条例(制定)

国の環境譲与税の新設に伴い、交付される譲与税を森林整備等に資する財源として基金に積み立てるため。

可決

○南幌町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例(改正)

子ども・子育て支援法等改正のため。

可決



○南幌町印鑑条例(改正)

住民基本台帳法施行令等改正のため。

可決

人事案件

○教育委員会委員の任命

くぼ 康則さん(西町)

同意

その他

○南幌町健全化判断比率及び南幌町資金不足比率の報告

平成30年度の各会計決算を基に算定した、本町の健全化判断比率及び資金不足比率について報告されました。

○教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告

平成30年度の教育委員会の活動状況に関する点検・評価について報告されました。

○町出資法人の経営状況報告

(株)南幌振興公社の経営状況について報告されました。

賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の態度を公表します。

令和元年第3回議会定例会

令和元年度各会計補正予算、平成30年度各会計決算認定、条例制定、人事案件など12議案について、議長を除く10名全ての議員が賛成しました。

※議長は採決に加わっていません。

一般質問

3人の議員が一般質問に立ち
町長・教育長の考えをただしました

問

誘客交流拠点施設整備事業について
町民説明会の開催は

答

町民説明会は必要により判断します

熊木 恵子 議員



熊木議員

この事業は、本町を取り巻く環境の大きな変化により、子育て世代をターゲットに新たな施策として、町内外の利用者がともに交流できる拠点施設となること

では、事業手法を公民連携による方式も視野に検討をしていること、これまでの経過説明や意見集約として職員、行政区長会議、教育委員会意見交換会、子育て世代等ヒアリングなどが行われアイデアや要望が示されたとのことでした。

子育て支援、移住促進がメインになっていますが、本町は今後高齢化率の上昇が予測されるなかで、全世代の意見、ニーズをしっかりと把握することが重要になってきます。

そこで3点伺います。

① 建設概算総事業費9億2,400万円の財源確保に

向け、具体的数値を示すべくでは。

② 基本設計や実施設計の時期は。

③ 全世代の声をどのように取り上げていくのか。

また、全町民を対象にした説明会開催の考えは。

町長

① 事業方式が決定し、プロポーザルや基本設計が完了した段階で概算事業費を示すことができるかと考えています。

財源については、町の負担が最小限となるよう有利な交付金などの調査・検討をしています。

② 基本設計・実施設計は、令和2年度中の完了を目指しています。

③ 子育て世代を中心とした町民の方や保育園、幼稚園など保護者や各団体から御意見をいただき、広報などでお知らせします。

全町民を対象にした説明会の開催は、必要により判断していきます。

その他の質問

地域おこし協力隊員の増員について

今後複数の隊員の募集、採用の検討は。

町長

活動内容を明確にし、その後の定住・定着につながるよう引き続き検討していきます。



議会懇談会を
ご利用ください

目的

議員が地域の皆様と懇談することにより、議会活動への理解を深めていただくこと、議会の機能強化を目的としています。

実施内容

- 町内の5名以上の小グループや各種団体を対象として実施します。
- 地域における諸課題や議会活動・町政に対する意見を議員が直接伺います。
- 開催に当たりテーマを決め、そのテーマに沿って懇談を進めます。
- 出席議員は開催内容に応じ議長が判断します。
- その他
- 通年開催しています。
- 開催場所・時間については各地域の集会所または公共施設等で開催します。
- 懇談時間は2時間以内とします。
- 申込等については、議会事務局へお問い合わせください。

問 食品ロス削減に向けた考えは

答 必要な取り組みを検討します

佐藤 妙子 議員



佐藤議員

現在発展途上国では、食糧不足や飢餓が深刻な問題になる中、9人に一人が栄養不足で5歳になる前に年間500万人の子供が命を落としています。そのような中で、まだ食べられるのに大量の食糧が日本国内でも毎年643万トンが捨てられている状況です。

本年、食品ロス削減推進法が成立し、国民運動として食品ロス問題に取り組むことが明言され、都道府県各市町村は食品ロス推進計画を推進するとあります。また、食品ロスの削減は幅広く食育のテーマにもつ

ながることから、南幌町食育推進計画でも、今後は重要な位置づけとしての取り組みが必要で、農業が持つ食のすばらしさを伝えることを基本理念に掲げている本町にとつて、食育活動の中での食品ロスの意識啓蒙や取り組みが重要課題の一つになると考えます。

そこで2点伺います。

- ①食品ロス削減に向けたこれまでの取り組みと課題、今後の具体的な考えは。
- ②食品ロス削減を食育活動で進める考えは。

町長

①学校給食において、児童生徒にいろいろなものをバランスよく食べることの大切さを伝え、好き嫌いや給食の残食をなくし、また食料生産者への感謝の気持ちや、食の大切さの理解が深められる取り組みを行っています。

今後は、本年5月に公布

された食品ロス削減の推進に関する法律に基づき、国や道、先進地の事例を参考に、必要な取り組みを検討します。

②現在の食育推進計画は、来年度が最終年となることから、見直しにあわせて食品ロス削減に向けた取り組みを検討します。

木村 修治 議員



木村議員

本町は石狩川、千歳川、夕張川、旧夕張川に囲まれ、これら堤防の総距離数は地図上で43kmになり、先人たちの治水事業は後世の私たちに思わぬ遺産を残しました。

本年度は周囲5kmの南幌遊水地、江別遊水地が完成し、これらを内包する外周43kmの堤防はマラソン、自転車、フットパスとして、また堤防両側の風景はすば

問 河川堤防を遺産として発信しては

答 新たに発信することは考えていません

らしく、その対比は南幌ならです。

そこで2点伺います。

- ①堤防を南幌の遺産として外部発信しては。
- ②旧夕張川自然堤防5kmに管理用道路を整備しては。

町長

昭和11年完成の夕張川新水路は、平成23年度土木学会の選奨土木遺産に認定され、河川敷はゴルフ場、公園、フットパスコースで憩いの場として利用されています。

- ①治水感謝式、町広報誌、ホームページで紹介しており、河川の一部である堤防を新たに本町の遺産として発信することは考えていません。
- ②4河川の堤防がつかねれば様々な利活用が期待できますが、現在、国において河川整備計画に基づく堤防整備が進められており、管理用道路整備については、

今後進捗状況を確認しながら、国と連携を図っていきます。

その他の質問

町の歴史、文化、産業を体系的に学べる基準テキストの作成及び活用について

- ①南幌町を体系的に理解できる基準テキスト作成の考えは。
- ②基準テキストでの検定試験を実施し、新たな南幌ファンをふやし移住につなげては。

教育長

- ①既に町の歴史、文化、産業を体系的に学べる書籍はそろっており、新たに書籍・テキストを発行する考えはありません。
- ②検定試験の実施は考えていません。

決算審査特別委員会

平成30年度各会計決算を認定



第3回定例会において、一般会計ほか5特別会計及び病院事業会計の30年度決算をいずれも決算審査特別委員会（菅原委員長ほか委員8名）に付託されました。
決算審査特別委員会は、9月9日から3日間の日程で審議し、賛成全員で「原案のとおり認定すべきもの」と決定し、報告しました。委員会での質疑を要約して掲載します。

総務費

【委員】【防災設備等整備事業】

役場に設置した非常用発電機は、どのくらいの期間対応できるのか。災害が長期となった場合の対応は。

【総務課】 72時間対応できます。災害が長期となった場合は、災害協定を締結しているの、それらも含めて対応していきます。

【委員】【ふるさと応援寄附事業】

返礼品の内容が変わり、今まで寄附していただいたリピーターからの反応は。また、新たな地場産品を返礼品に加える考えは。

【総務課】 国の基準が4月に示されましたが、リピーターからの問い合わせはありませんが、新たな地場産品の追加については、現在1件事業者と協議中です。

今後も生産者、観光協会等と連携して取り組んでいきます。

【委員】【協働まちづくり推進事業】

3年という補助期間を撤廃すべきと考えるが、規約の変更は考えているのか。

【まちづくり課】 委員による会議を開催し、検証していきます。

【委員】【知名度向上対策事業】

AIR-Gでの町民グスト出演は大変良い事業で続けていくべきと考えるが、反響は。

【まちづくり課】 町外からの直接的な反響は今のところありませんが、子育て世代に対して様々なPRを行っており、南幌町の知名度向上につながっている実感はあります。

民生費

【委員】【老人福祉事業】

老人クラブの運営について、加入率が低い、地域に任せているのか。孤立化をさせない取り組みは。

【保健福祉課】 それぞれ地域に任せていますが、現役世代もふえてきており、加入率の低さにつながっていると考えられます。

加入していない方で日常生活に困っている方に対しては、訪問で対応しています。集団への参加の重要性は、カフェサロン等で周知しています。



農林水産業費

委員 【有害鳥獣捕獲事業】

シカの捕獲、駆除の手立ては。

産業振興課 被害は把握してはいますが、捕獲に至っていない状況です。

本町は平地のため狩猟が行えず、自己防衛しか方法はありません。音や光が出る装置による自己防衛を行っている自治体もありますので、本町も有効な手段を検討していきます。



委員 【有害鳥獣捕獲事業】

鳥獣被害対策実施隊のメンバーである猟友会の高齢化の問題について、今後どのように考えているのか。

産業振興課 市街地で40代の方に入会していただき

したので、町内の方を紹介していただくよう働きかけていきます。

商工費

委員 【商工会運営助成事業】

商工会の会員の状況は。

産業振興課 平成31年3月末現在で181件の対象のうち加入者が139件、加入率は76・8%となっています。

商工会の加入が前提となっている中小企業資金利子補給事業や空き店舗活用支援事業など会員をふやす取り組みを行っています。

土木費

委員 【公園施設管理事業】

指定管理者が草刈りを行っているが、看板が草で覆われているところがある。現地での確認は行っているのか。

都市整備課 確認は行っています。看板が見えなくなっている箇所は、指定管理者に指導しており、今後もパトロールを続けていきます。

委員 【町道除排雪事業】

幹線道路脇に堆積している雪の排雪はどのように行っているのか。

都市整備課 随時パトロールを行っており、雪を押し込みした場所は道路に出てくる前に排雪を行っています。



委員 【橋梁長寿命化修繕事業】

23橋梁の点検結果は。

都市整備課 健全度ランク1～4区分のうち早期に措置を講ずるべき橋である3が1橋ありましたが、健全度ランクにかかわらず、橋梁の交通量等を考慮し、修繕を進めていきます。

教育費

委員 【芸術・文化推進事業】

生徒芸術鑑賞会について、毎年開催する考えは。

生涯学習課 生徒芸術鑑賞会については、現在のところ3年に1回のサイクルがふさわしいと考えていますが、開催時期等も含めて検討していきます。

委員 【体育施設管理事業】

夕張太プールについて、利用者数の減少により以前検討を行うとのことだったが、どのように検討が進んでいるのか。

生涯学習課 地元と利用状況や今後の修繕見通しなどについての協議を行っています。今後の施設のあり方も含めて引き続き検討します。

委員 【給食運営事業】

給食で地元加工品を使うものはどれくらいあるのか。

生涯学習課 現在のところキャベツキムチを鍋で使用しています。好評であることから、今後も提供していく予定です。

病院事業会計

委員

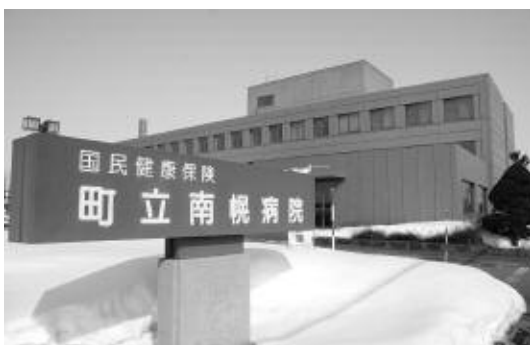
厳しい経営状況を病院職員で共有しているのか。

町立病院 毎月院内会議の中で収支状況と今後の目標について確認を行っており、共有できていると考えています。

委員

江別市立病院だけではなく、近隣の病院との連携の考えはあるのか。

町立病院 由仁町、長沼町とはお互いがカバードきるように事務レベルで話し合いをしている状況です。



全員協議会

総務常任委員会

7月18日

○病院の経営状況について

(町立病院)

8月26日

○教育委員会の活動状況に関する点検・評価について

(生涯学習課)

○会計年度任用職員について

(総務課)

○幼児教育・保育の無償化について

(保健福祉課)

○誘客交流拠点施設整備について

(まちづくり課)

委員会活動

南幌町まちづくり特別委員会

7月18日

○道内視察について

9月6日

○道内視察について

○議会報告懇談会について

9月30日

○議会報告懇談会について

○道内視察について

産業経済常任委員会

9月2日

○農業委員会農作物作況調査へ同行

議会運営委員会

8月30日

○第3回定例会の運営について

9月30日

○今後の所管事務調査について

平成30年度政務活動費

執行状況

議員一人あたり交付決定額
96,000円

本間 秀正	支出済額	96,000円
川幡 宗宏	支出済額	0円
原田 弘克	支出済額	0円
志賀浦 学	支出済額	74,825円
内田 恵子	支出済額	55,937円
西股 裕司	支出済額	55,936円

佐藤 妙子	支出済額	55,936円
菅原 文子	支出済額	91,741円
石川 康弘	支出済額	55,937円
熊木 恵子	支出済額	72,395円
側瀬 敏彦	支出済額	0円
合 計	558,707円	執行率 52.9%

町政を知る良い機会

議会を傍聴しませんか!

第4回定例会は12月開催です。

※本会議の議事録は、役場、あいくる、ふれあい館の情報コーナー、ぼろろ図書室並びにホームページでご覧になれます。





私のまち・ひと・しごと

議会だより表紙の方を紹介します。

N F N ・夏フェス南幌実行委員長
佐々木 謙二さん

7月15日（海の日）中央公園で南幌町内外から音楽好きが集まり、N F N ・夏フェス南幌が開催されました。今年5回目で、10チームが参加していました。

今回のまち・ひと・しごとは、西町にあるシャ・ララ カフェに集まる【無邪気に遊べる大人達】が中心となって、南幌を盛り上げようと南幌でしかできない、ケンちゃんにしかできないイベントを立ち上げた実行委員長の佐々木謙二さんを紹介します。

◇音楽好きになったのはいつ頃ですか。

中学生のとき、兄からドラムを習ったのがきっかけです。

◇夏フェス南幌は最初どこで開催したのですか。

夕張川河川敷のレストランです。

◇夏フェス南幌の開催への思いは。

米米まつりがなくなり、町内外から人が遊びに来れるような活気を取り戻したいと思い、夏フェス南幌を開催しました。楽器や音響機材は個人が持ちより、協力していただいているので、仲間には本当に感謝です。

◇議会や町に対して要望等があればお聞かせください。

私たちは、中央公園の野外ステージが大好きで、特にステージから見た広い空と丘を見ながらの演奏は、どこにもない醍醐味です。もっと中央公園を使えるようにしたら良いと思います。子どもたちにとって夏の思い出である仮装盆踊りがなくなり、寂しいです。南幌町に住んで18年になりますが、大好きな南幌のふるさと教育として、伝統文化をなくしたくないと思います。私たちも手伝えることがあれば手伝いたいと考えています。町や議会も知恵を出しあい、活気のあるまちづくりを考えてほしいです。

共通の趣味と信頼関係で支え合っている仲間たちのバンドの祭典「N F N ・夏フェス南幌」がもっと周知されるように、私たちにできることがあれば協力させていただきたいと思います。

U・K

なんぼろ議会だより

令和元年11月1日 第148号

〒069-0292

空知郡南幌町栄町3丁目2番1号

TEL011-378-2121

発行／南幌町議会

編集／議会広報特別委員会

印刷／（株）総北海

今年も秋が終わり、農作物の収穫作業はほぼ終わりました。今年の北海道は特別な大雨や大風、加えて地震など自然災害がなく、穏やかに過ぎようとしています。近年は、過去になかった極端な自然災害が発生しており、その頻度は年々増えています。その原因は、地球温暖化によるものです。今を生きる私たちは本当に真剣に取り組まなければ、将来の世代に大きなリスクを残すことになります。来年も豊穡の秋を迎えられるように、みんな環境問題を考え、行動する必要があります。ありがとうございました。

I・Y

編集後記